

Financial Results for the Second Quarter of
the Fiscal Year Ending December 31, 2021

COPYRIGHT 2021 Cacco Inc.

かっこ株式会社 | 証券コード 4166

2021年8月13日

COX{[O

2021年12月期 第2四半期 決算説明資料

目次

- 1 2021年12月期 第2四半期 業績
- 2 2021年12月期 通期業績見通し
- 3 今後の成長戦略
- 4 APPENDIX（会社概要・事業内容・その他参考資料）

2021年12月期 第2四半期 業績

Financial Results for the Second Quarter of
the Fiscal Year Ending December 31, 2021



(金額単位：百万円)

中核の不正検知サービスが前年同期累計比+19.6%と堅調に成長 全体売上高は前年同期累計比+7.7%

EC市場は、1Qの緊急事態宣言による巣籠り特需の影響は落ち着きを見せたものの、消費者の着実なECシフトにより堅調に推移し、FY2021 2Q累計期間の不正検知サービス売上高は前年同期累計比+19.6%と堅調に成長し、全体の売上高は前年同期累計比+7.7%の450百万円となった。

各段階利益ともFY2021通期予想に対する進捗率が6割に到達

増員に伴う人件費増加等により販売費及び一般管理費が増加したものの増収による売上総利益の増加が上回り、各段階利益のFY2021通期予想に対する進捗率はそれぞれ、営業利益 61.3%、経常利益 60.5%、当期純利益 60.3%となった。

	FY2020 2Q累計	FY2021 2Q累計	前年 同期累計比	FY2021 通期予想	進捗率
売上高	418	450	+7.7%	909	49.5%
(不正検知サービス売上高)	317	380	+19.6%	755	50.3%
営業利益	91	94	+3.7%	154	61.3%
(営業利益率)	21.8%	21.0%	▲0.8pt	17.0%	-
経常利益	88	90	+2.6%	149	60.5%
(経常利益率)	21.0%	20.0%	▲1.0pt	16.4%	-
四半期(当期)純利益	97	61	▲36.8%	102	60.3%

2021年12月期 第2四半期 業績・売上高の推移

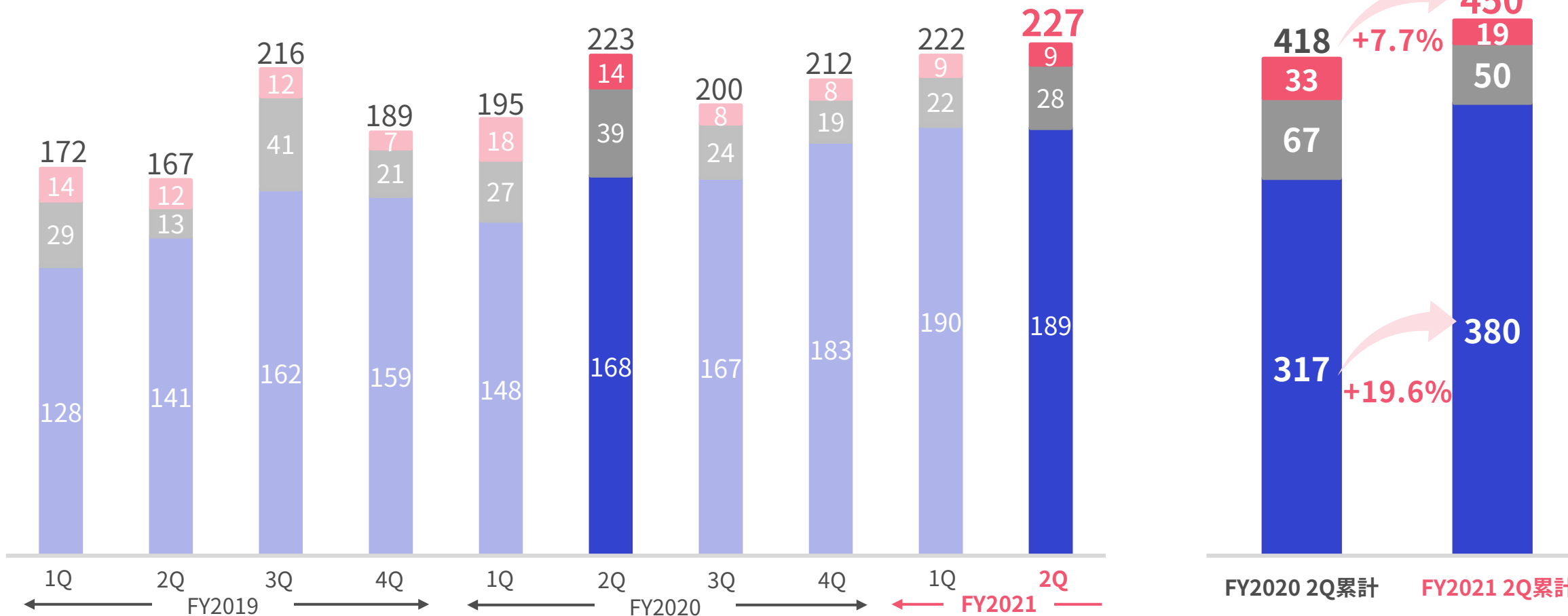


中核の不正検知サービスが、**前年同期累計比19.6%増加** となり堅調に成長。
 全体売上高は、**前年同期累計比7.7%増加**。

売上高推移

(金額単位：百万円)

■不正検知サービス ■決済コンサルティングサービス ■データサイエンスサービス



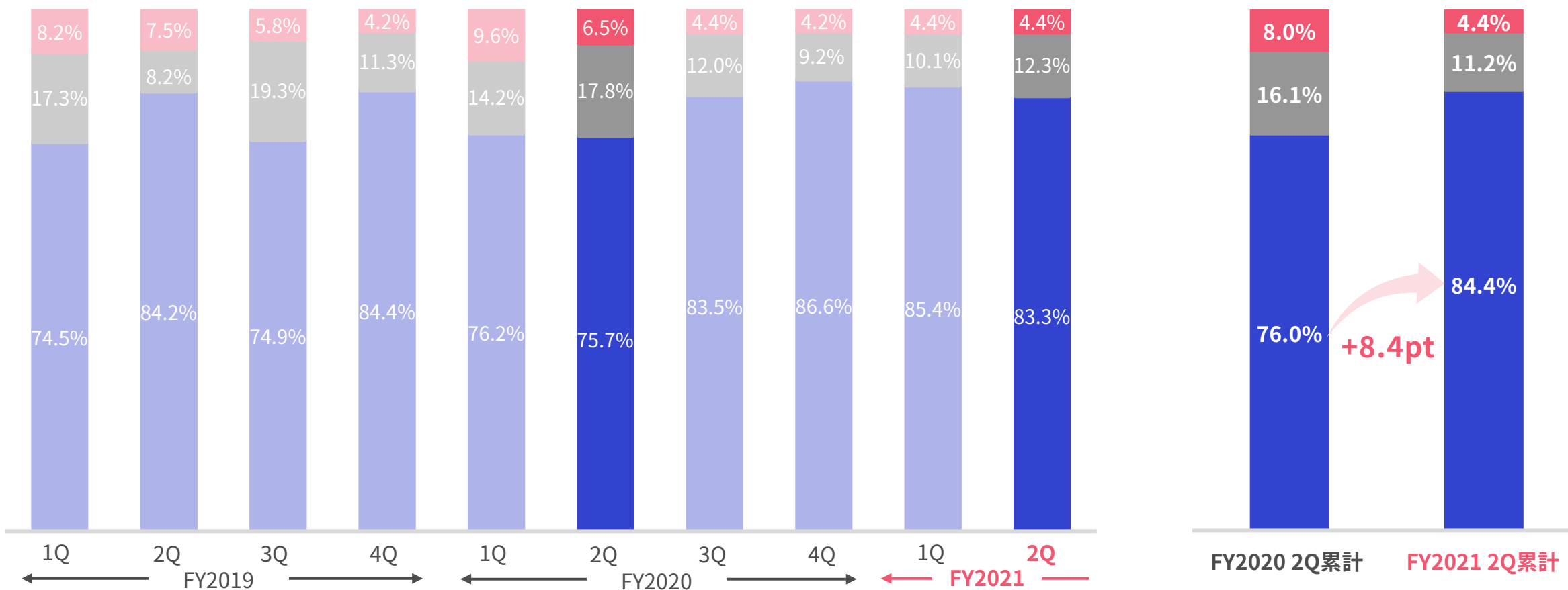
2021年12月期 第2四半期 業績・サービス別売上高構成比の推移



中核の不正検知サービスの売上高構成比が**84.4%** (前年同期累計比+8.4pt) に拡大。

サービス別売上高構成比推移

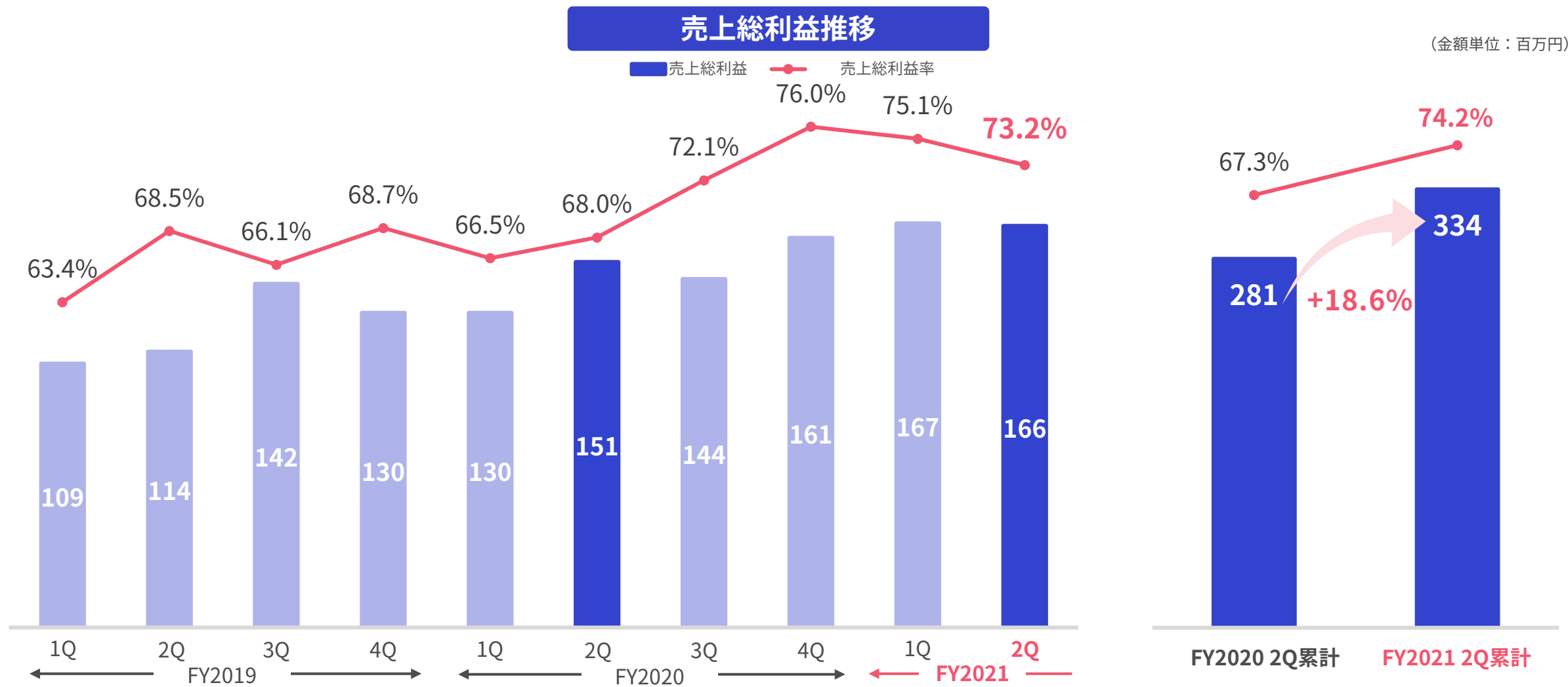
■不正検知サービス ■決済コンサルティングサービス ■データサイエンスサービス



2021年12月期 第2四半期 業績・売上総利益の推移



売上総利益は、**前年同期累計比18.6%増加**。売上総利益率は、**74.2%**（前年同期累計比+6.8pt）に拡大。



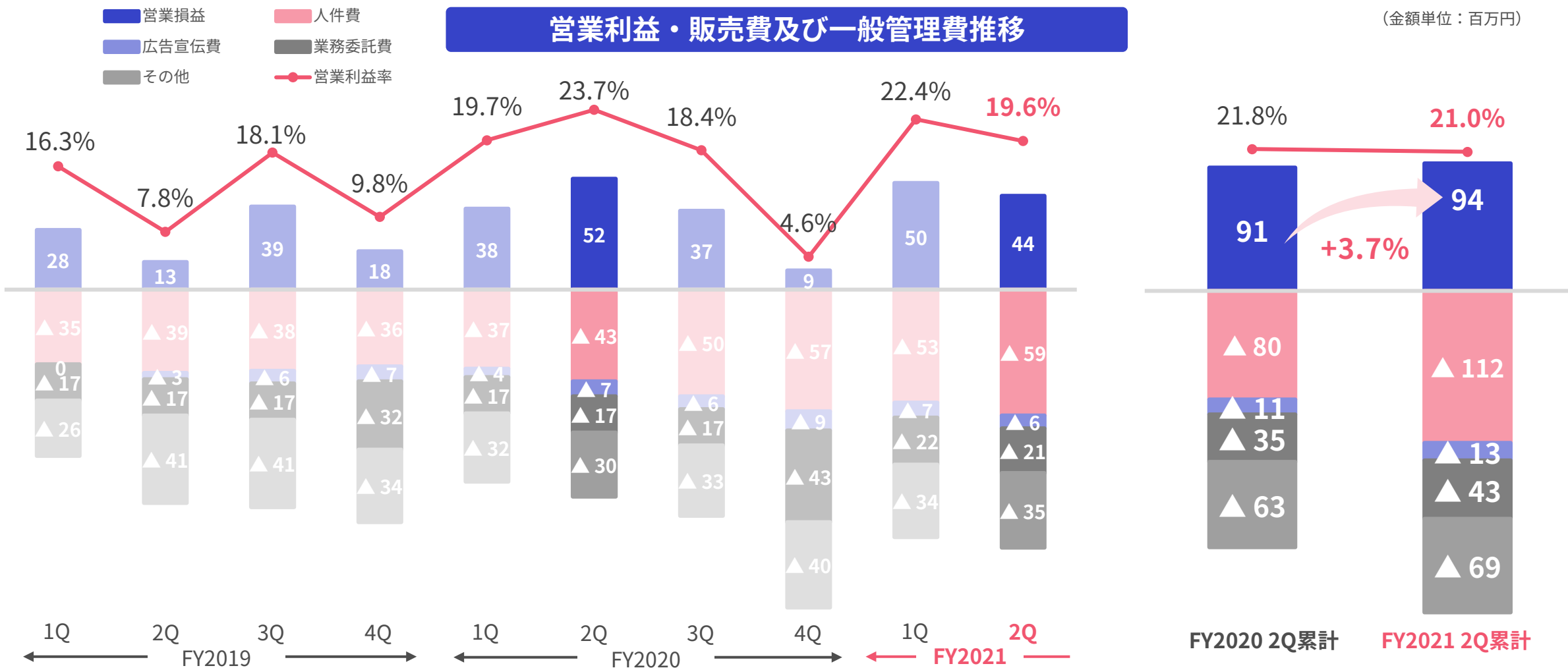
2021年12月期 第2四半期 業績・営業利益・販売費及び一般管理費の推移



増員に伴う人件費増加等により販売費及び一般管理費が増加したものの、増収による売上総利益の増加が上回り、営業利益は前年同期累計比**3.7%**増加。

営業利益・販売費及び一般管理費推移

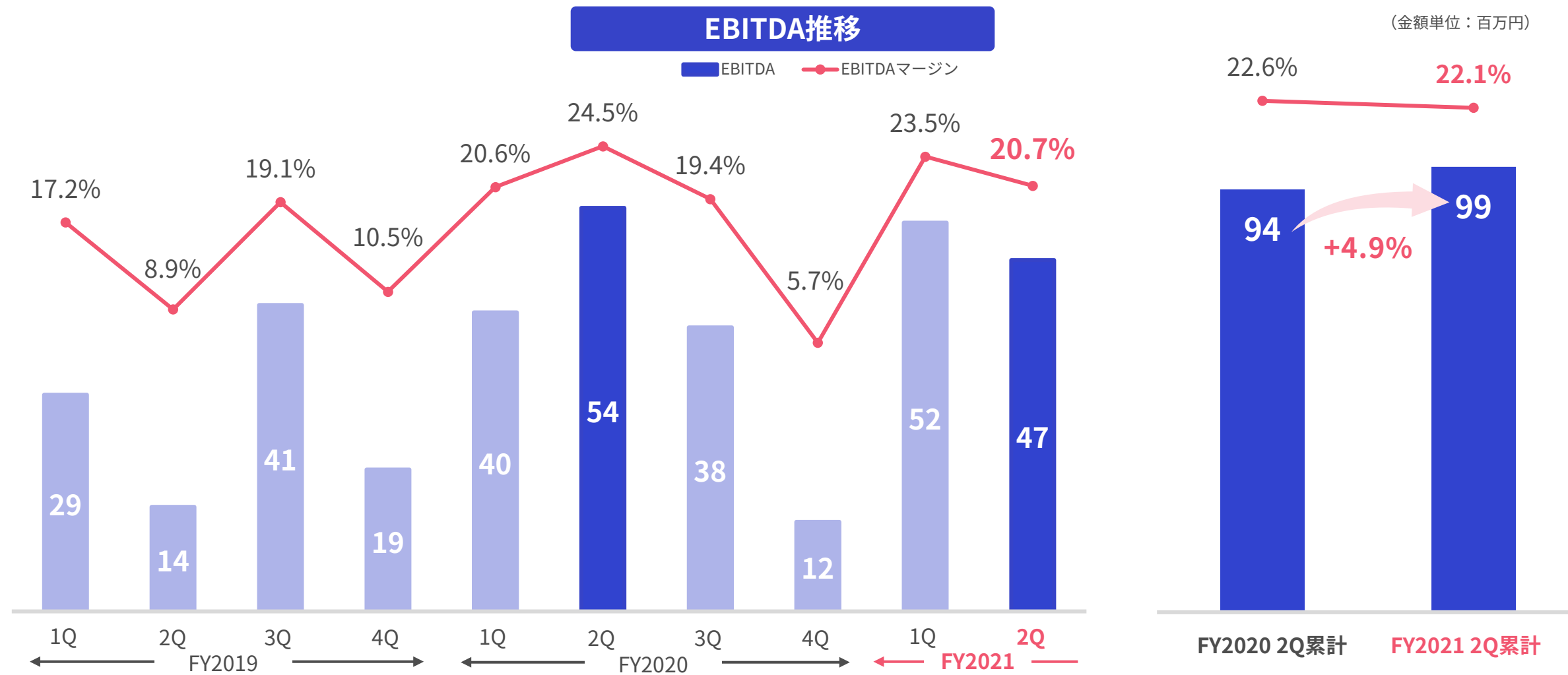
(金額単位：百万円)



2021年12月期 第2四半期 業績・EBITDAの推移



EBITDAは、**前年同期累計比4.9%増加。**



※EBITDA=営業利益+減価償却費 ※EBITDAマージン=EBITDA÷売上高

2021年12月期 第2四半期 業績・「O-PLUX」のストック収益

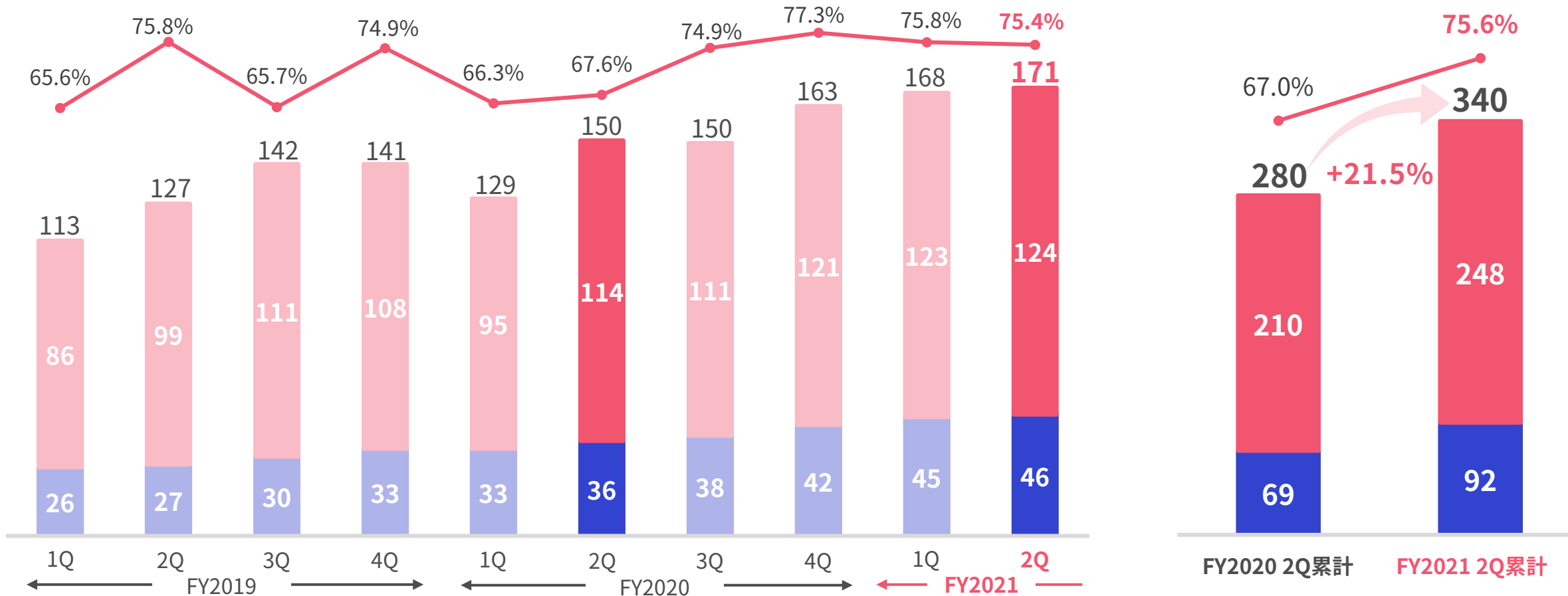


「O-PLUX」のストック収益は前年同期累計比21.5%増加、ストック収益率は75.6%（前年同期累計比+8.6pt）に拡大し、着実に成長を維持。

「O-PLUX」ストック収益推移

■ 月額固定 ■ 審査料金 ● ストック収益率

(金額単位：百万円)



※ストック収益＝定額課金である月額料金＋審査件数に応じた従量課金である審査料金（初期導入料金等のスポット収益は含まれておりません）

※ストック収益率＝ストック収益÷売上高（全サービス合計）

※スポット収益＝ストック収益以外の収益

(C) Cacco Inc. All Rights Reserved.

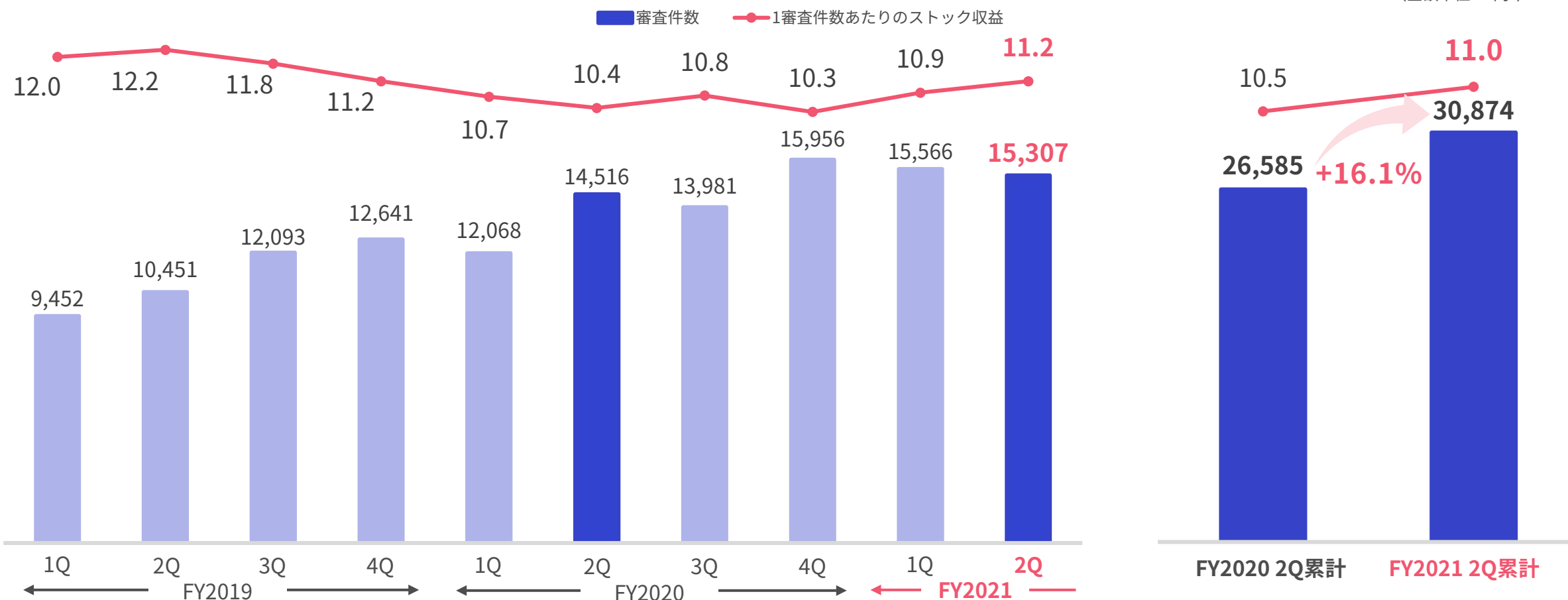
2021年12月期 第2四半期 業績・「O-PLUX」の審査件数の推移



「O-PLUX」の審査件数は、**前年同期累計比16.1%増加**。

「O-PLUX」 審査件数
1審査件あたりのストック収益推移

(件数単位：千件)
(金額単位：円)



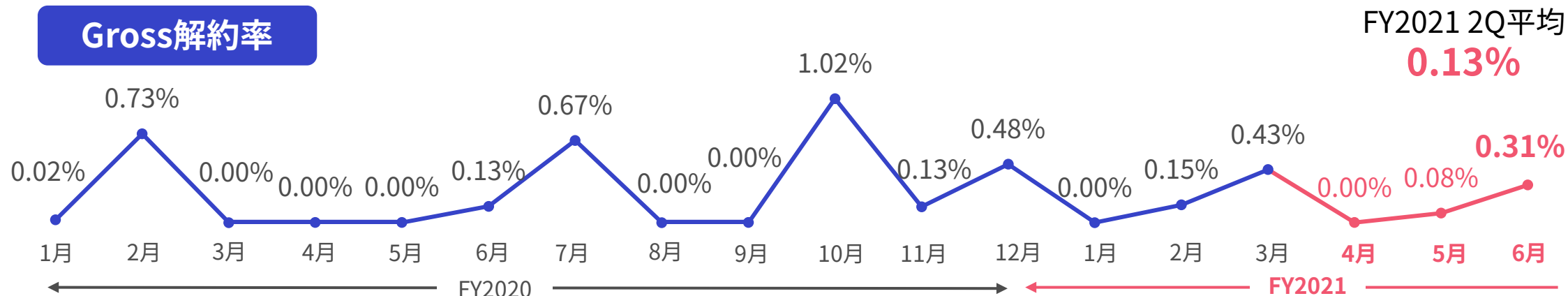
※ストック収益＝定額課金である月額料金＋審査件数に応じた従量課金である審査料金（初期導入料金等のスポット収益は含まれておりません）
 ※ストック収益率＝ストック収益÷売上高（全サービス合計）
 ※スポット収益＝ストック収益以外の収益

2021年12月期 第2四半期 業績・「O-PLUX」 月次解約率の推移



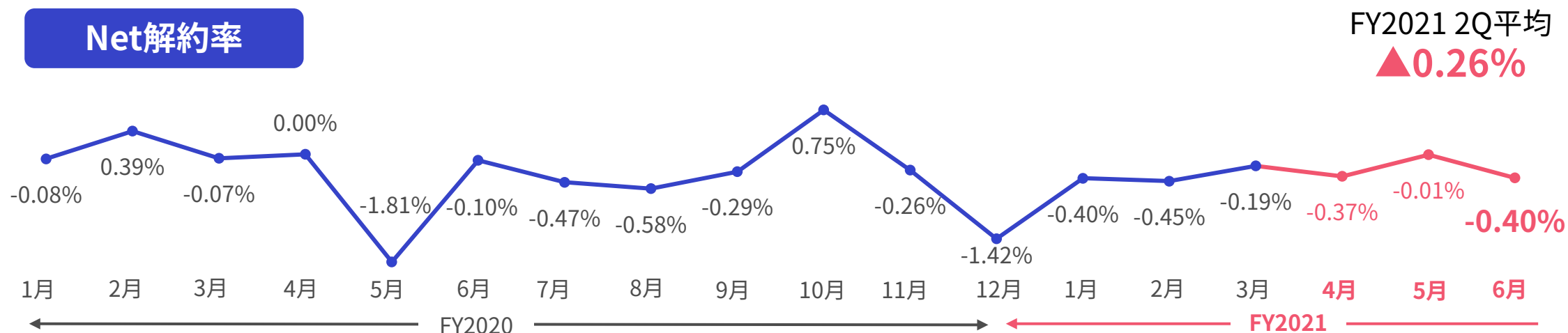
「O-PLUX」の月次解約率は引き続き低位で推移し、**ネガティブチャーンを継続**。

Gross解約率



※Gross解約率=当月解約ストック収益の年間平均 ÷ 当月初時点のストック収益

Net解約率



※Net解約率= (当月解約ストック収益の年間平均 - 当月新規ストック収益) ÷ 当月初時点のストック収益

2021年12月期 第2四半期 業績・貸借対照表

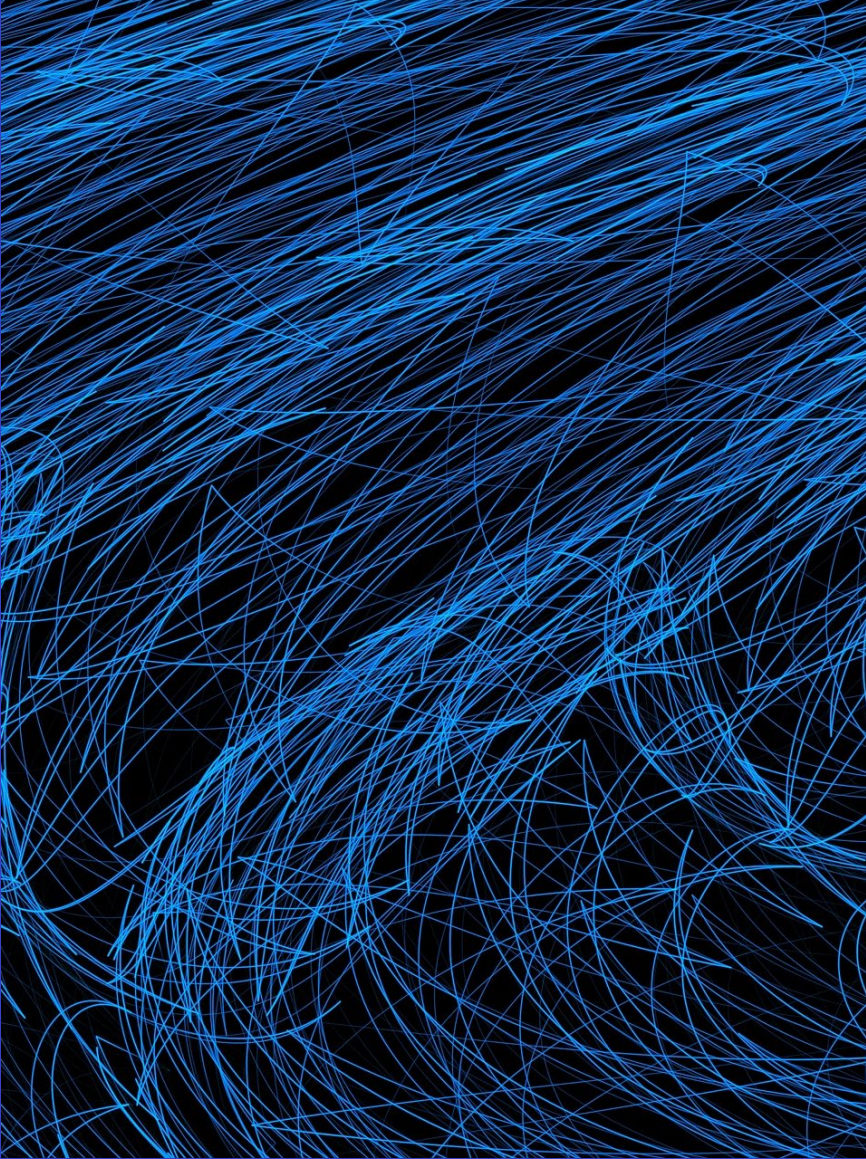


(金額単位：百万円)

	FY2021 (1Q)	FY2021 (2Q)	増減率	主な要因
流動資産	1,229	848	▲31.0%	現預金の減少
(現 預 金)	1,107	740	▲33.1%	借入金の返済
固定資産	440	469	+6.6%	ソフトウェア仮勘定の増加
総 資 産	1,669	1,317	▲21.1%	
流動負債	289	101	▲65.0%	借入金の減少、未払金の減少
固定負債	198	3	▲98.0%	借入金の減少
純 資 産	1,182	1,212	+2.6%	四半期純利益の計上
自己資本比率	70.6%	91.8%	+21.2pt	

2021年12月期 通期業績見通し

Forecast Financial Results of the Fiscal
Year Ending December 31, 2021



(金額単位：百万円)

売上高 前期比 +9.4%

- 不正検知サービスは「O-PLUX」「O-MOTION」の拡販により前期比12.9%の成長を見込む。
- 決済コンサルティングサービスはシステム開発案件の減少により前期比▲7.1%、データサイエンスサービスは前期同等の売上を見込む。

経常利益 前期比 +29.3%

- 営業利益は前期比+11.8%を見込み、FY2020計上の上場関連費用がFY2021は発生しないことから、経常利益は前期比+29.3%の成長を見込む。
- 当期純利益は繰延税金資産の減少に伴う法人税等調整額（税金費用）の増加により減少する見込み。

	FY2020 (実績)	FY2021 (予想)	YoY
売上高	831	909	+9.4%
(不正検知サービス売上高)	669	755	+12.9%
営業利益	138	154	+11.8%
(営業利益率)	16.6%	17.0%	+3.4pt
経常利益	115	149	+29.3%
(経常利益率)	13.9%	16.4%	+2.5pt
当期純利益	130	102	▲21.3%
EPS (円)	55.37	39.05	—

2021年12月期 通期業績見通し・売上高・サービス別売上高構成比の推移



中核サービスである不正検知サービスが前期比**12.9%**増加し、売上高構成比も**83.0%**に拡大の見込み。

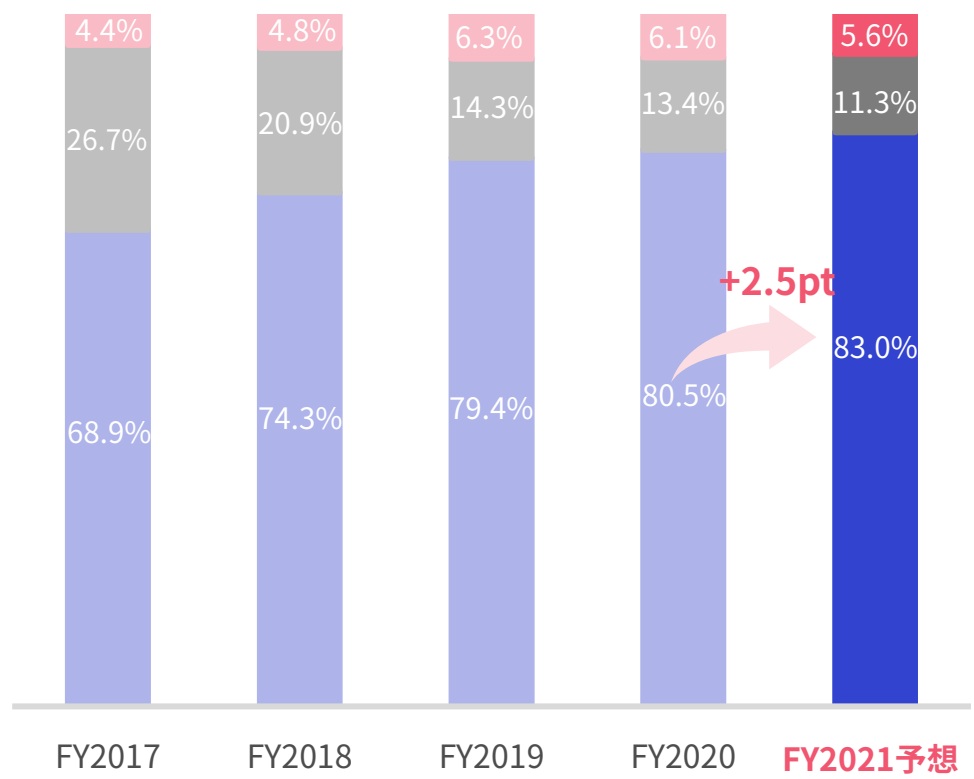
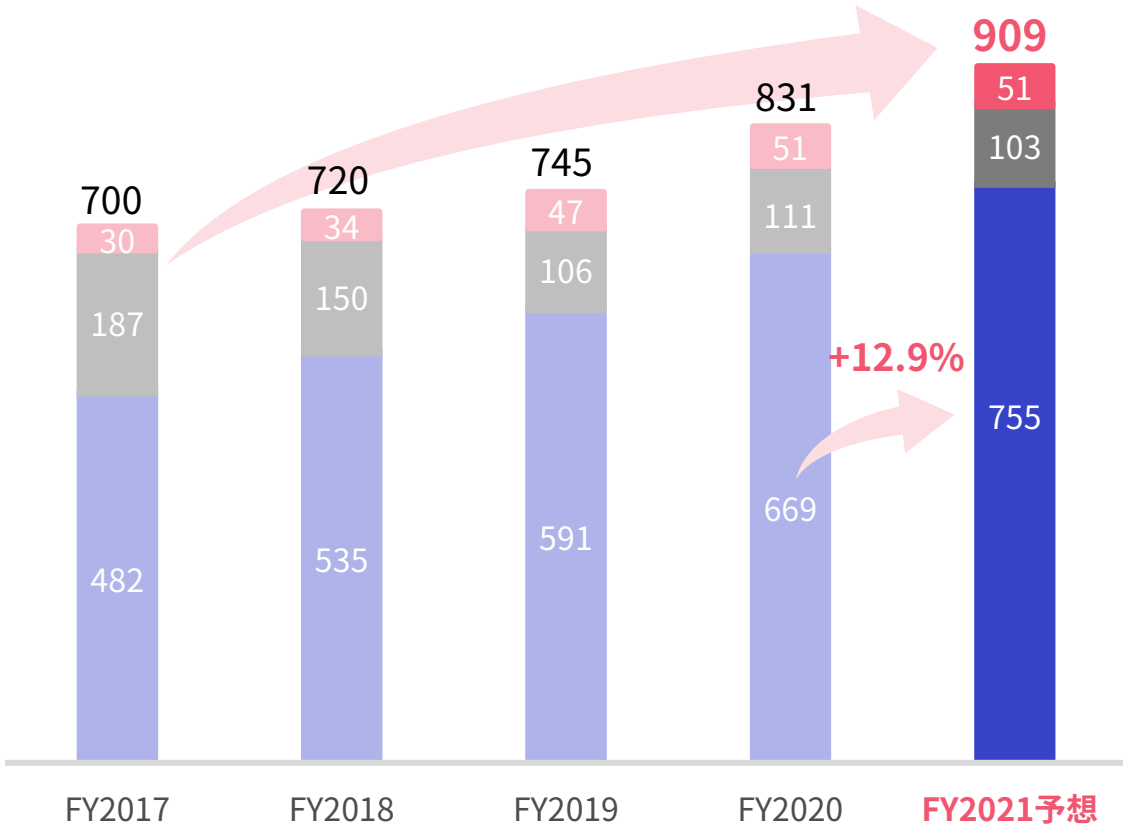
売上高推移

(金額単位：百万円)

サービス別売上高構成比推移

■不正検知サービス ■決済コンサルティングサービス ■データサイエンスサービス

■不正検知サービス ■決済コンサルティングサービス ■データサイエンスサービス



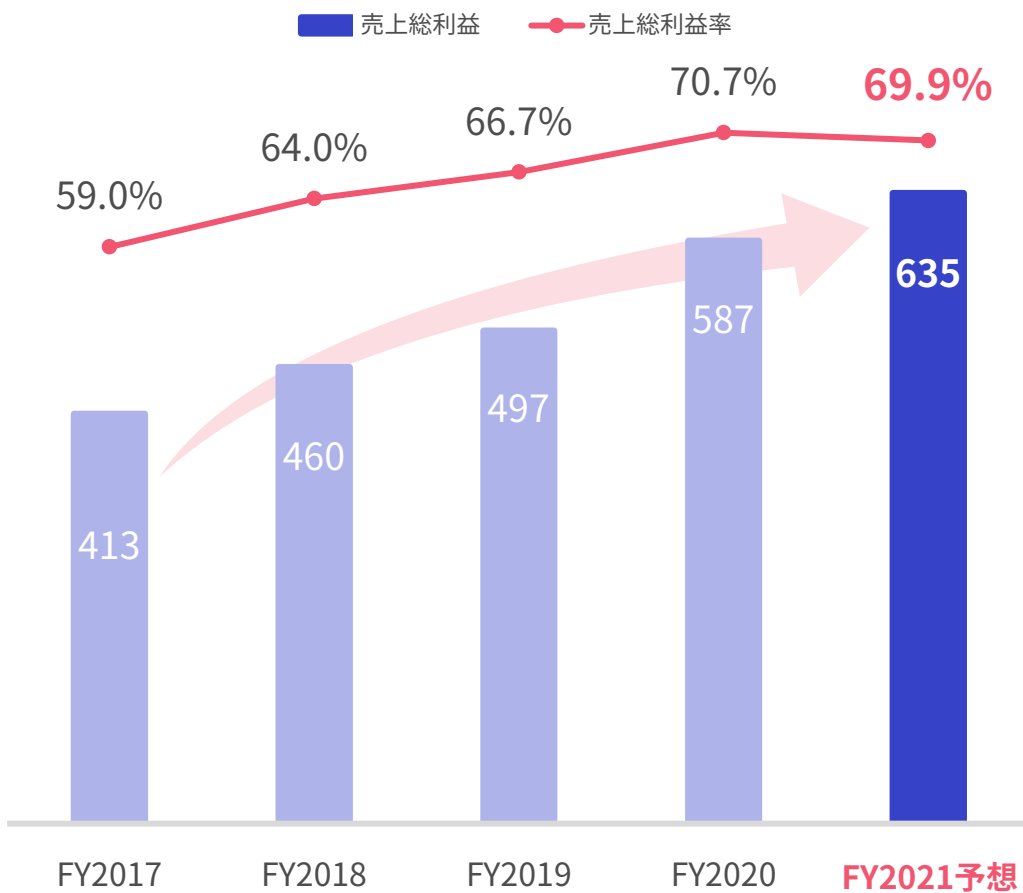
2021年12月期 通期業績見通し・売上総利益・営業利益の推移



ソフトウェア（「O-PLUX」アーキテクチャ刷新・SaaS型後払い決済システム）に係る減価償却費の増加により売上総利益率は若干低下するも、営業利益率は着実に上昇の見込み。

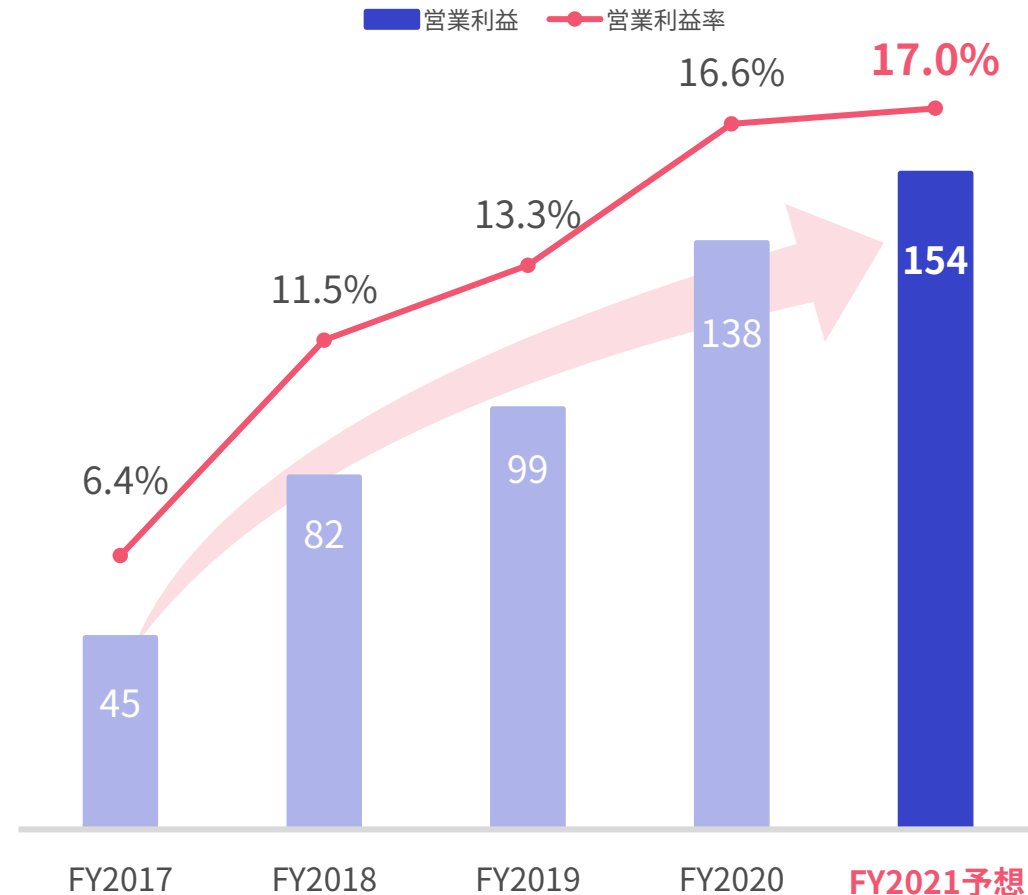
売上総利益推移

(金額単位：百万円)



営業利益推移

(金額単位：百万円)





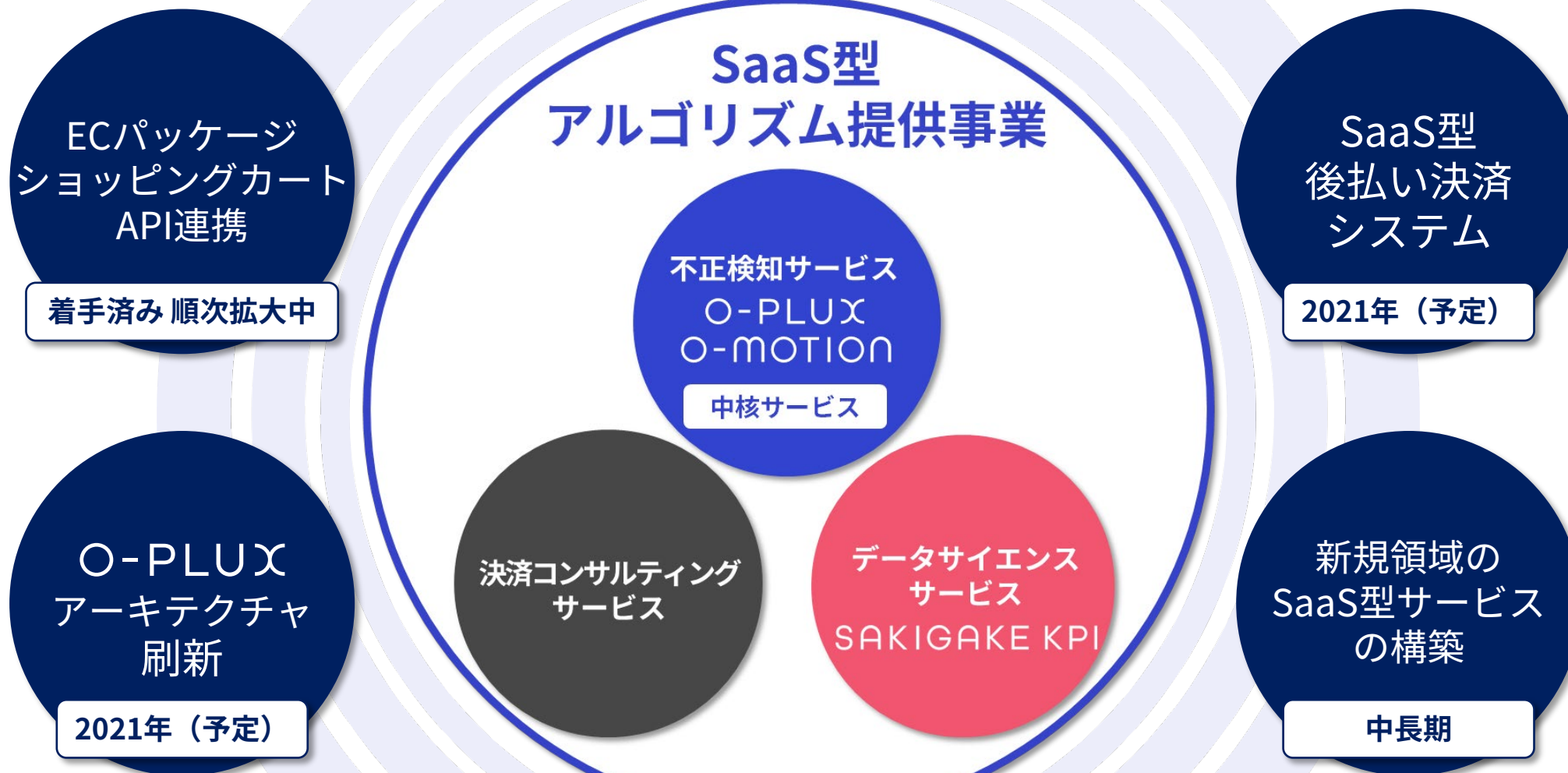
今後の成長戦略

Growth Strategy

今後の成長戦略・事業拡大に向けた4つの成長戦略



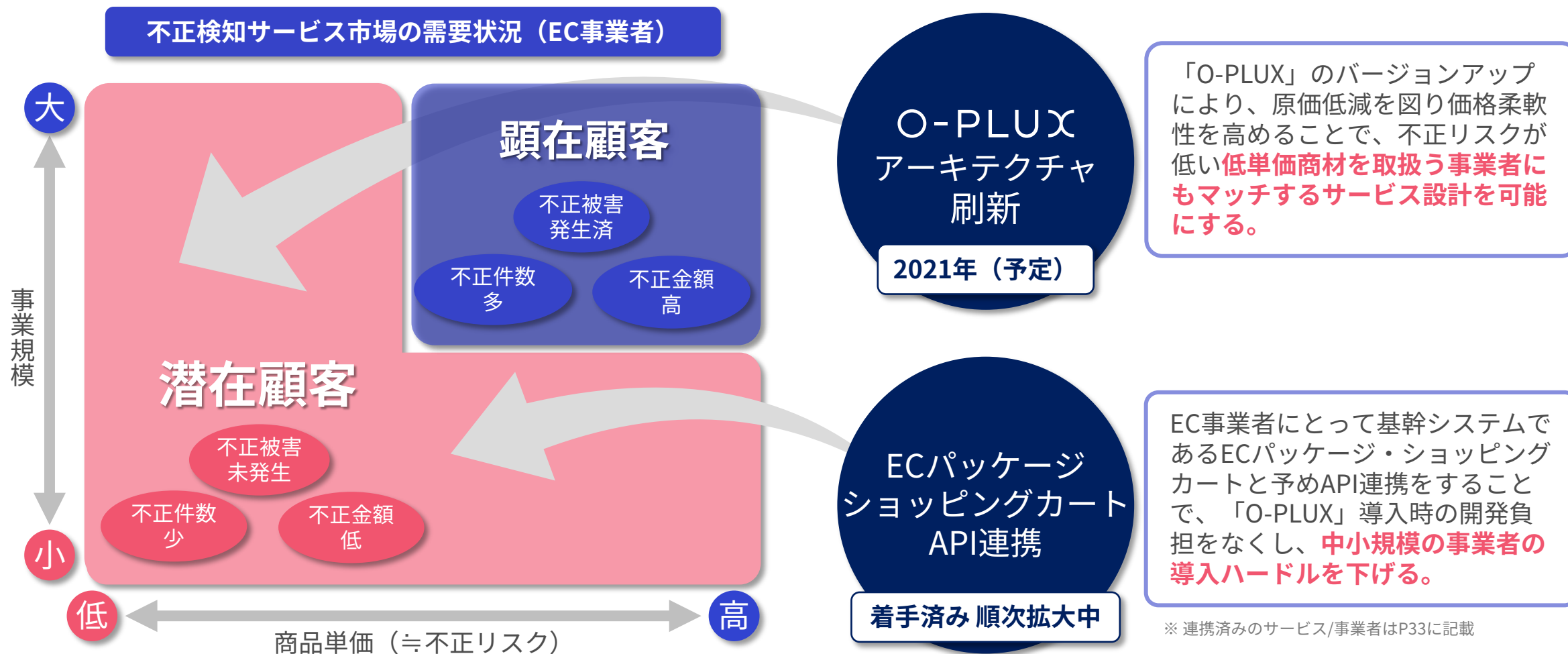
4つの成長戦略により、不正検知サービスを中心に事業拡大を加速し、**自ら市場を創出**する。



今後の成長戦略・「O-PLUX」の潜在顧客に対するアプローチ



今後、不正被害の社会問題化や法規制等レギュレーションの更なる強化により、潜在顧客の顕在化が進むと想定しており、「O-PLUX」のアーキテクチャ刷新・API連携を進めることであらゆる層の顧客獲得を図る。



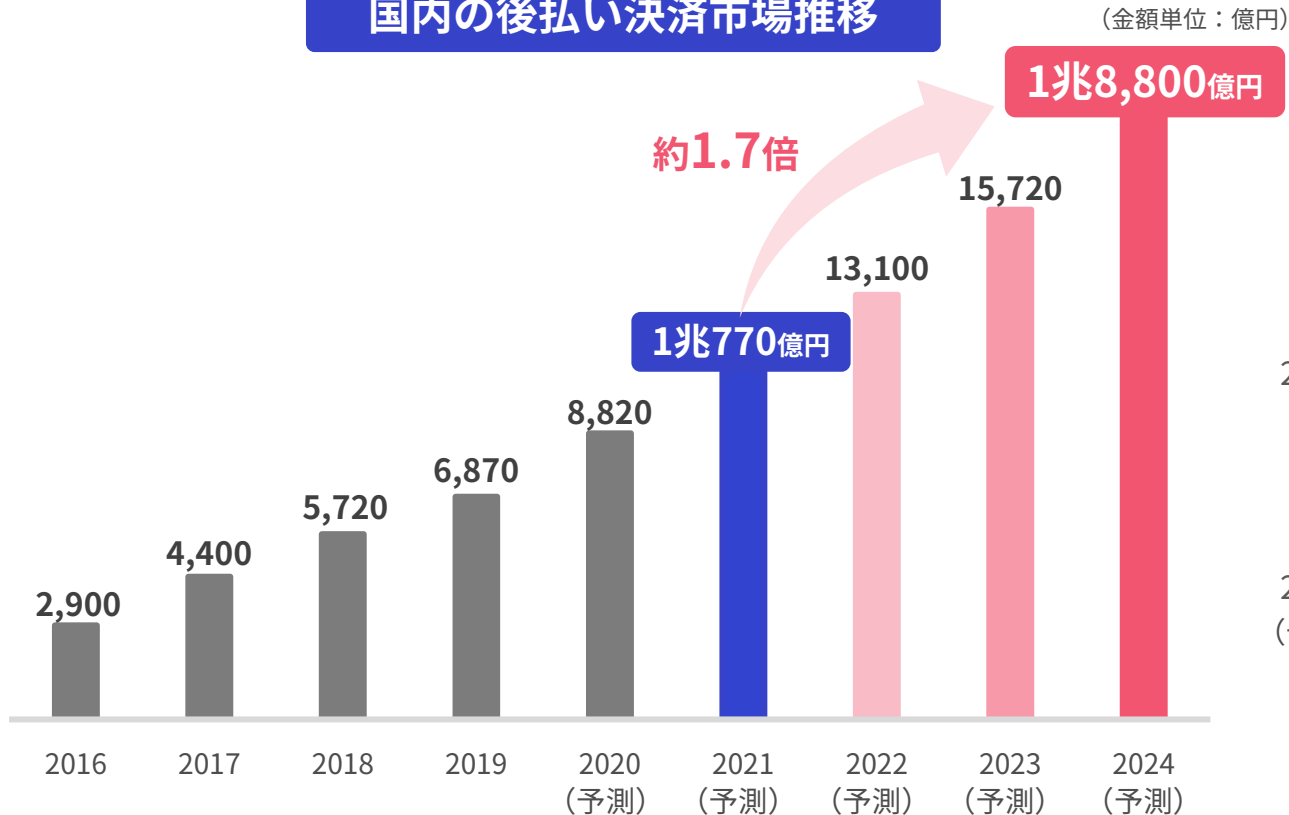
今後の成長戦略・SaaS型後払い決済システムによる「O-PLUX」の利用拡大

新規領域の
SaaS型サービスの
構築

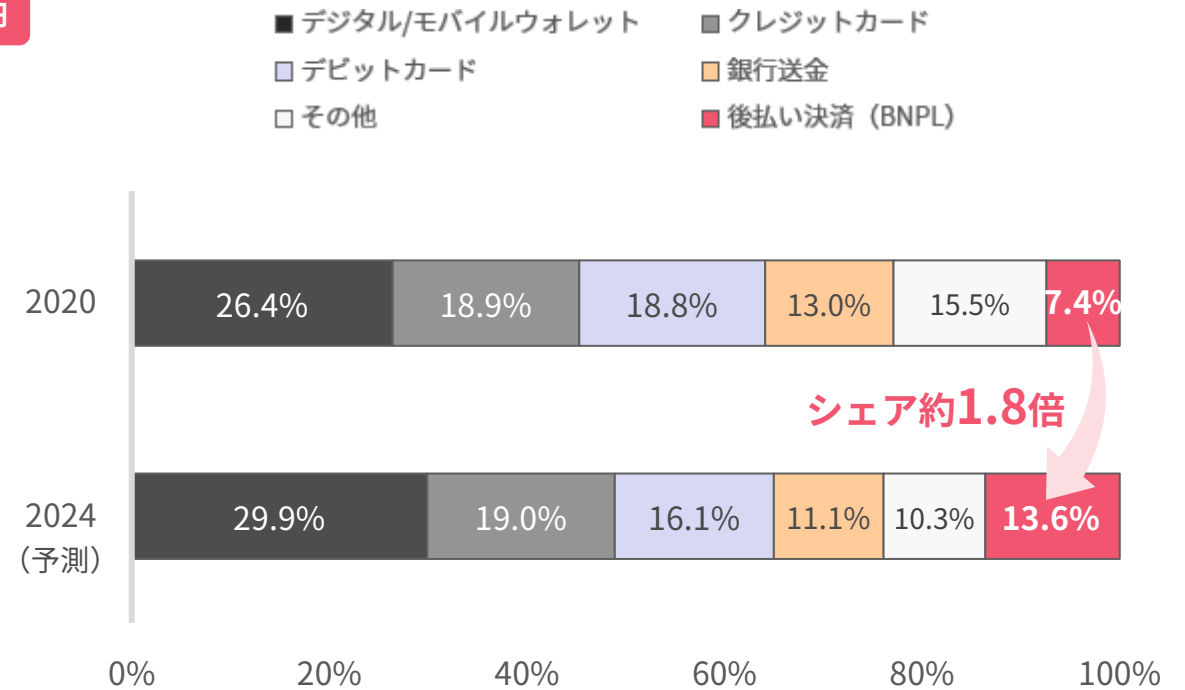
中長期

国内外で成長を続ける後払い決済（BNPL: Buy Now Pay Later）市場において、大型開発なく利用開始できるSaaS型の後払い決済システムを提供することで、後払い決済市場の成長を支援し、「O-PLUX」の利用拡大につなげる。

国内の後払い決済市場推移



北米における後払い決済の利用率予測



出典：矢野経済研究所「オンライン決済サービスプロバイダーの現状と将来予測 2020年版」

出典：Worldpay「Global Payment Report2021」

(C) Cacco Inc. All Rights Reserved.

今後の成長戦略・新規領域のSaaS型サービスの構築



新規領域の
SaaS型サービス
の構築

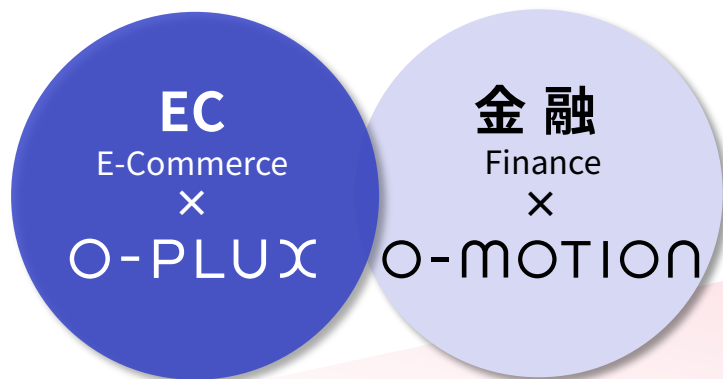
中長期

データサイエンスサービスをベースとして、ナレッジを蓄積しつつ既存領域の拡大、新規領域のSaaS型サービスを構築。

既存コア領域

深耕中領域

将来の新規領域



不正検知サービス

既存領域SaaS

決済コンサルティングサービス

新規領域SaaS

データサイエンスサービス

新規領域の
SaaS型サービス
の構築

中長期

海外
Overseas

東南アジアにおいて下記3分野のマーケットについて参入を検討。

個人向け・企業向けとも資金需要が拡大しており、当社の不正検知サービスをベースにデータサイエンス、セキュリティ技術を活用した貸付審査サービス等を提供していく。

eコマース
市場

東南アジアにおいてEC市場の発展に欠かせない「信用取引の拡大」に関して、当社の不正検知サービス、決済コンサルティングサービスを転用し展開を行う。

マイクロ
ファイナンス

不動産・自動車
担保ローン

当社のデータサイエンスの技術を活用し、各種担保ローンにおける価値査定やリスク計算のアルゴリズムを開発・提供していく。

Appendix



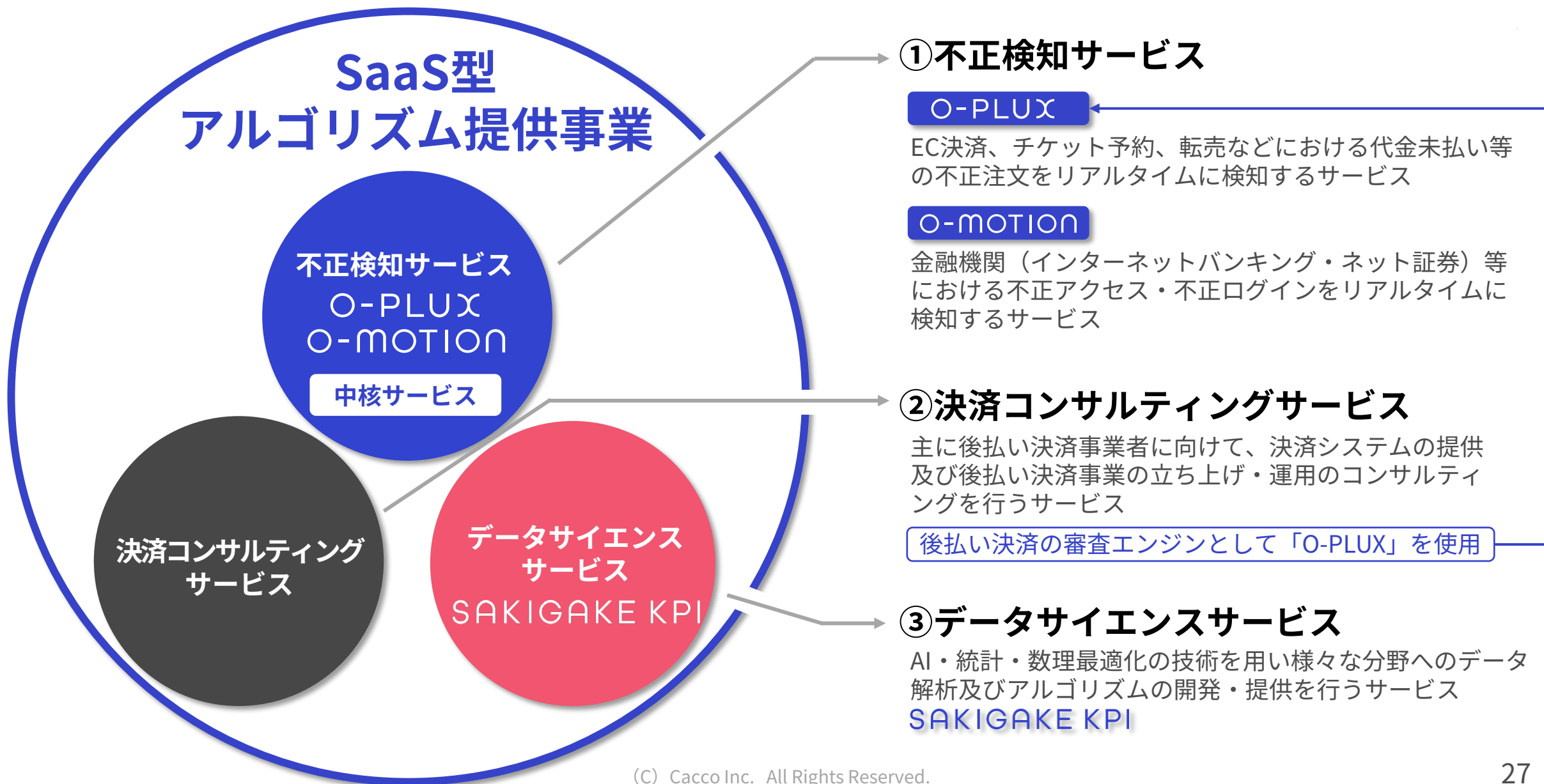
Cacco Evolutionary Purpose

未来のゲームチェンジャーの 「まずやってみよう」をカタチに

創業以来、すべてのサービスを発展させ続けてきた当社の原動力が、「**Cacco Evolutionary Purpose**」です。インターネット・スマートフォンの普及に伴って急速に変化する日々の中、現状維持では企業が衰退してしまう。変化を推し進めなければ、新しい産業が生まれません。2000年代以降、低成長が続いた状況を打破したい。当社はそんな強い想いで、未来のゲームチェンジャーとなる人や企業が、革新していく事を支援します。



社名	かっこ株式会社 (Cacco Inc.)
代表者	代表取締役社長CEO 岩井 裕之
事業内容	SaaS型アルゴリズム提供事業 (不正検知サービス、決済コンサルティングサービス、データサイエンスサービス)
資本金	363,178,556円 ※2021年6月30日時点
上場市場	東京証券取引所マザーズ市場 (証券コード 4166)
設立	2011年1月28日
住所・TEL	東京都港区元赤坂一丁目5番31号 TEL : 03-6447-4534
特許	特許第6534255号・特許第6534256号・特許第6860156号
認証	ISMS (情報セキュリティマネジメントシステム) ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014 登録番号 : IA120255 プライバシーマーク® 第10824248 (04) 号



1

データサイエンスに関する知見とセキュリティ領域における高い技術

(取得特許3件：「特許第6534255号」「特許第6534256号」「特許第6860156号」)

2

EC領域とペイメント領域における当社サービス導入数国内No.1の実績

(株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2021年5月末日時点)

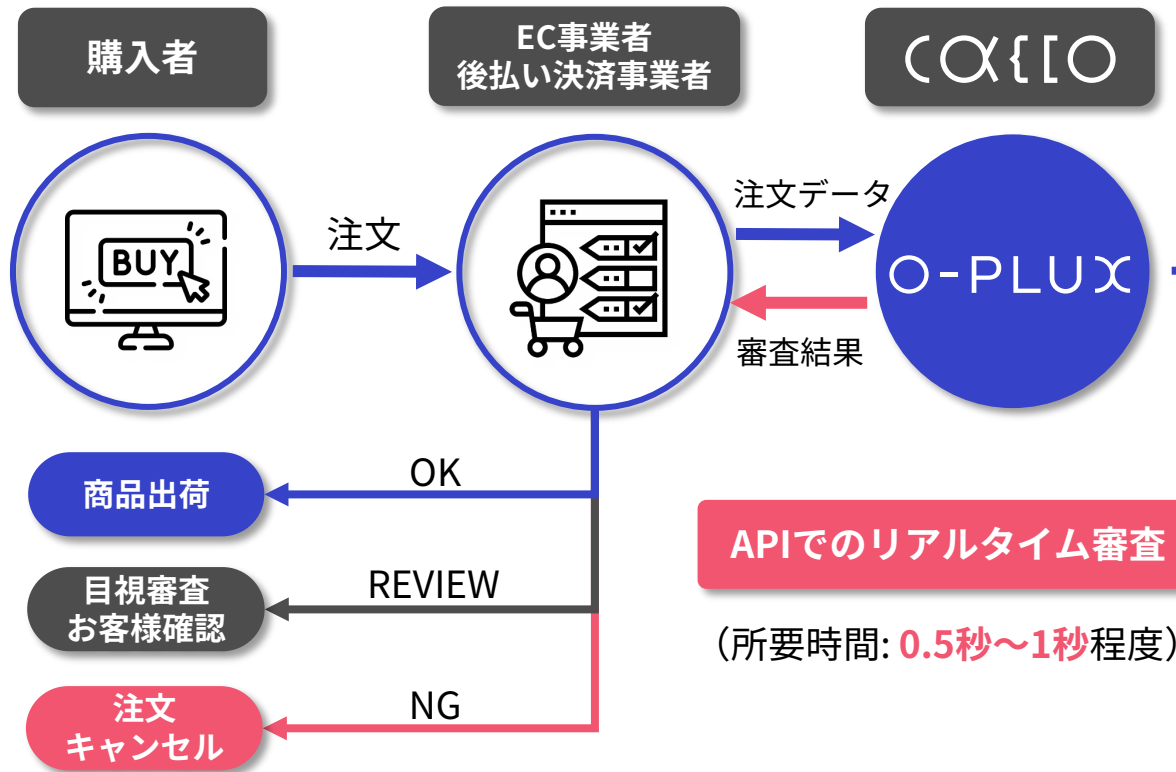
3

主力製品であるO-PLUXの利用拡大によるストック収益の堅調な成長

(FY2021/2Q累計の当社売上高全体に占める **ストック収益の割合は75.6%(前年同期累計比+8.6pt)**)

ECにおける代金未払い等の不正注文を独自の審査モデルでリアルタイムに検知するSaaS型サービス

審査の流れ



主な審査機能

名寄せ処理



表記の異なる同一住所や姓名を正規化処理して活用

ex: 赤坂4丁目3番地2号
赤坂4-3-2

デバイス情報



- IP、cookieによる同一視判定
- 海外からのアクセス判定
- 言語設定、タイムゾーンによる外国人のなりすまし判定 etc...

外部DB連携



- 空室の判定 (ウィークリーマンション・ホテルの判定)
- 海外転送サービスの判定
- 電話番号疎通の判定 etc...

行動分析



短期間の大量購入やなりすましなど、不正者に顕著な情報や行動パターンを分析して検知

共有ネガティブ



利用企業で共有されているネガティブデータベースとの一致を判定

Appendix ・ 不正注文検知サービス「O-PLUX」 | 導入企業



「O-PLUX」は、様々な業界に導入が進んでおり国内導入数No.1を獲得※1。
不正注文被害を未然に防ぐことで、電子商取引（eコマース）の安全なインフラ構築を推進。

ホビー 	ホスティング
PC タブレット 	映像 音響機器
食品 健康食品 	ホームセンター
コスメ ヘアケア 	アパレル
ネットショッピングモール MVNO・その他 	

※1 株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」2021年5月末日時点

※2 掲載許諾を得た一部の企業のみ掲載 2021年7月末日時点

パートナー企業／サービスは順次拡大中。今後も連携を進め「O-PLUX」の拡大を図る。

ECパッケージ・ショッピングカート



EC-ORANGE



ECICUBE ¹



ebisumart

全てを実現するクラウドコマースプラットフォーム

eltex DC Direct Commerce

EC / 通販統合パッケージ



GMO クラウドEC
パッケージEC

Salesforce
Commerce Cloud



決済代行会社 (PSP)

SB Payment Service



SBI GROUP ZEUS
Payment Service



remis^e

DSK
株式会社 電算システム

UNIVA PAYCAST

※1 EC-CUBEは株式会社イーシーキューブの商標です。

※2 2021年7月末時点。

Appendix ・ 日本のEC市場の成長と不正被害の拡大

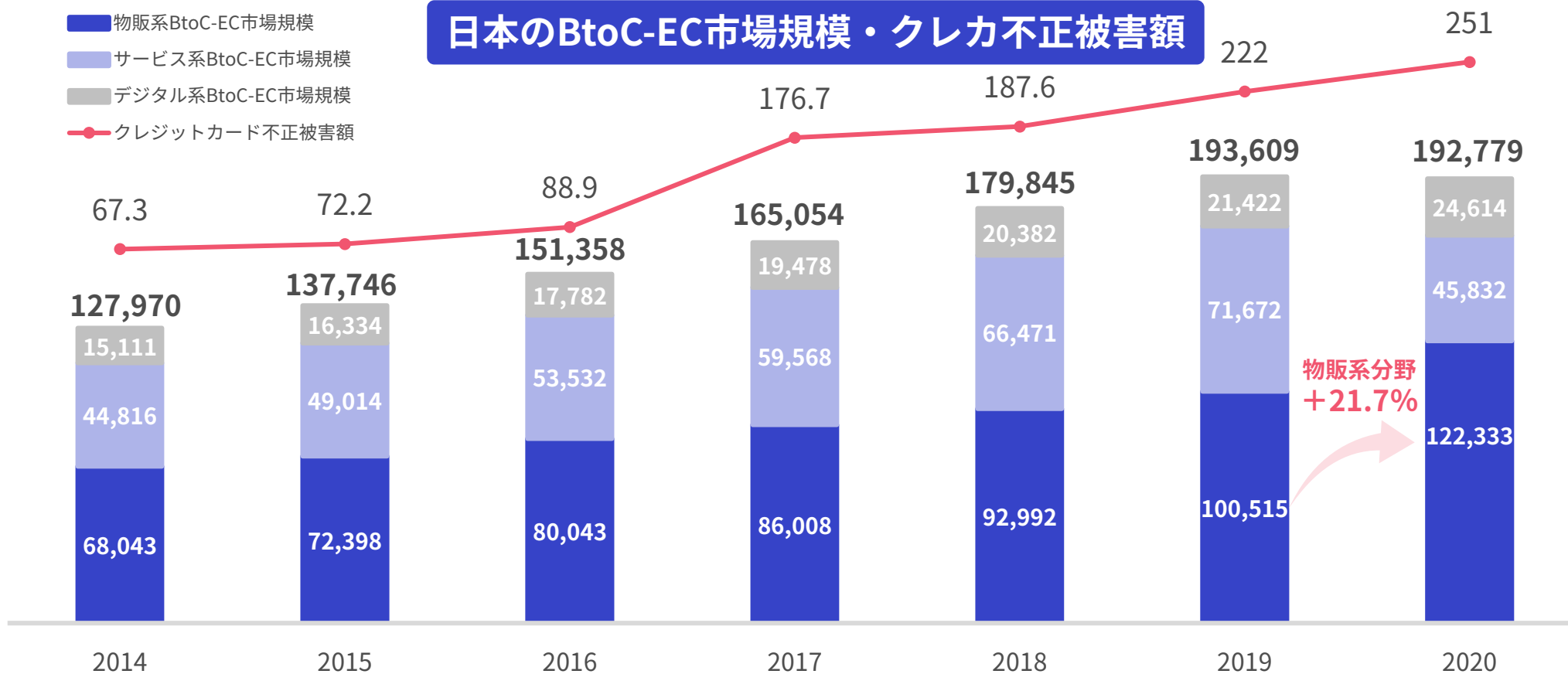


EC市場の成長に比例してクレジットカードの不正被害（番号盗用被害）が拡大しており、割賦販売法改正、クレジットカード・セキュリティガイドラインのアップデートなど、不正対策に対する社会的需要が高まっている。

- 物販系BtoC-EC市場規模
- サービス系BtoC-EC市場規模
- デジタル系BtoC-EC市場規模
- クレジットカード不正被害額

日本のBtoC-EC市場規模・クレカ不正被害額

(金額単位：億円)



出典：経済産業省 商務情報政策局 情報経済課「令和2年度産業経済研究委託事業（電子商取引に関する市場調査）報告書」
一般社団法人日本クレジット協会「クレジットカード不正利用被害の発生状況」2021年6月

「O-PLUX」のストック収益が伸びる3つの要素



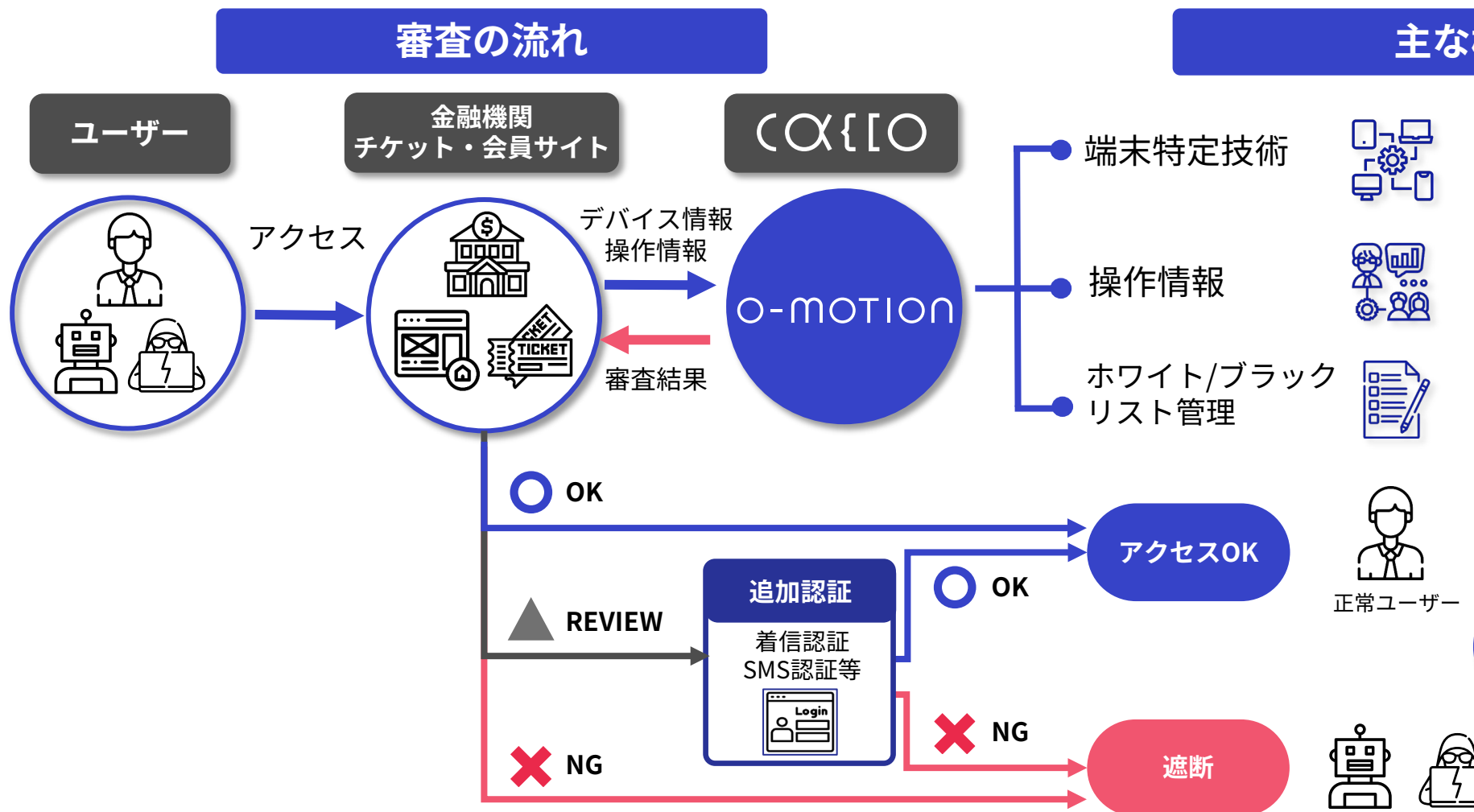
従量課金と定額課金を合算した**ストック収益**が、売上高全体の**約7割**を占める安定的な収益構造。
 さらに、従量課金により、**EC市場・後払い決済市場の拡大**に伴うアップサイドポテンシャルを取り込むことが可能。

Appendix・不正アクセス検知サービス「O-MOTION」 | 概要



WEBサイトにアクセスしたユーザーの操作情報、デバイス情報等をリアルタイムに分析。
他人のなりすましを識別し、不正アクセスから生じる不正行為（個人情報漏洩・不正購入etc.）を防止。

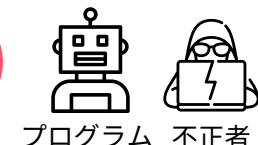
審査の流れ



主な機能

- 端末特定技術**
User Agent、Cookie等を用いた従来型の検知では判別しきれなかった不正も判定・検知。
- 操作情報**
ユーザー操作から不正傾向を判定し、自動プログラム（Bot）によるアクセスも検知。
- ホワイト/ブラックリスト管理**
ホワイト/ブラックリストを容易に管理が可能。

正常なアクセスに対しては、煩わしい認証作業を求めることなく、不正アクセス対策が可能

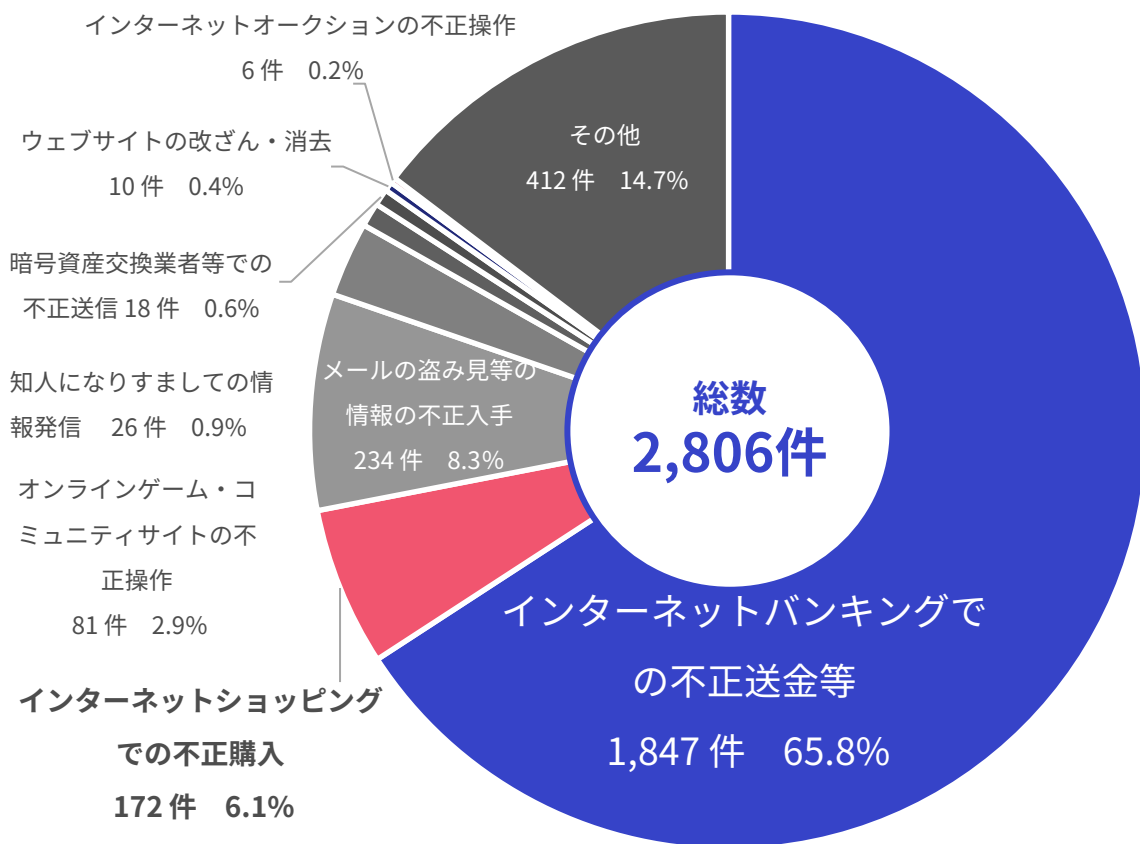


Appendix ・ 日本の不正アクセス被害の状況



2020年の不正アクセス被害2,806件のうち、インターネットバンキングでの不正送金やインターネットショッピングでの不正購入などEC・オンライン取引での被害が7割以上を占める。また、不正アクセスによる個人情報の漏えい等の被害も後を絶たない状況。

不正アクセス後に行われた行為 (2020年)



不正アクセスによる被害の事例 (一部)

被害発生時期	被害先	被害内容
2021年7月	ドラッグストア ECサイト	不正アクセスにより、クレジットカード情報2万5千件以上が流出した可能性。
2021年7月	大手物流企業	不正アクセスにより、800万件以上の個人情報が流出した可能性。
2021年6月	大手新聞社	キャンペーンサイトに不正アクセスがあり、14万3千件の個人情報が流出した可能性。
2021年6月	大手通信機器会社 会員サイト	不正アクセスを受け、40万5,576件が流出した。
2021年3月	大手アパレル ECサイト	不正アクセスにより、30万件以上の個人情報が流出の可能性。
2020年12月	キャッシュレス 決済企業	第三者による不正アクセスが行われ、加盟店など約260万店舗の営業情報などが流出の可能性。従業員やパートナー企業に関する情報も最大2,000万件以上が流出の可能性。
2020年9月	モバイル通信	モバイルウォレットサービスを悪用し、銀行口座の預金者になりすました不正なアカウント開設により、複数の地方銀行の口座において不正出金が発生。被害総額2,000万円以上。
2020年6月	大手カメラ ECサイト	パスワードリストを用いた不正アクセスが発生し、顧客情報最大40万件が流出した可能性。

自社での後払い決済構築や、後払い決済事業の開始を検討している事業者に向けて、サービス構築、決済システム開発、運用サポートまでワンストップで支援。審査エンジンは「O-PLUX」を提供。



サービス
検討・構築



後払い決済
システム開発



運用サポート



審査エンジン提供
O-PLUX



POINT 01

後払い決済事業のサポート経験が豊富

- ・月間取引件数が数百万件規模の決済システムに関する構築実績
- ・事業立ち上げのサポート実績（事業計画、各種要件定義作成など）
- ・事業開始後のサポート実績（与信、運用構築など）



POINT 02

実際の運用経験のあるコンサルタントによるサポート

後払い決済の運用経験豊富なコンサルタントが、お客様の視点に立って最適な提案をします。



POINT 03

金融機関・EC事業者向けに培ったデータサイエンス技術

「O-MOTION」による金融機関を狙う不正アクセス・不正ログインの検知、「O-PLUX」によるEC事業者を狙う不正な注文の検知といった、シビアな判断が求められる金融・決済分野における不正検知の実績を挙げてきました。「O-PLUX」は国内導入数No.1^(※)を獲得しています。

※2021年5月末日時点(株式会社東京商工リサーチ「日本国内のECサイトにおける有償の不正検知サービス導入サイト件数調査」)

AI・統計学・数理最適化の技術をもとに、予測のモデル化や機械学習を適用した自動化など、企業活動の中核に貢献するアルゴリズムを開発・提供。

Our approach

さきがけKPI



データの集計・可視化から、要因分析、KPI算出、分析報告と、その後のご提案まで。1億件のデータまでなら、30営業日、200万円で、データから価値を生み出すパッケージ型分析支援。

データサイエンス分室



あたかも自社の一部門の様に、データサイエンス資源を月額契約で活用可能。様々なステージの、あらゆる分析ニーズに応える「データサイエンス分室」構想を実現。

アルゴリズムの開発



人間の経験を超える最適化や、自動処理による生産性向上、需要やリスクの予測など、業務の処理において利益拡大を追求するアルゴリズムの開発。

Case studies

最適化

年商1,190億円の壁材メーカー

1700の製品・12の生産レーンにおける生産計画作成。複雑な条件を守りながら、生産量の最大化や、ロスを最小化する生産順を計画。



年間最大1.3億円コスト削減

統計

AI

年商55億円の文具メーカー

カレンダー、手帳、文具類で利益を最大化できる需要予測と、生産指示のためのアルゴリズム開発。欠品による機会損失を最小化。



販売機会損失70%削減

最適化

コールセンター

翌月の日・時間帯単位での需要を予測し、経営指標、従業員の勤務希望、労働条件といった複数の制約を満たす人員配置計画を自動生成。



年間0.6億円コスト削減

Appendix・Caccoの社会価値創造プロセス



DX推進による資源多消費型産業モデルからの脱却支援

データサイエンスサービスによるDX支援によって、生産・販売・流通の最適化及び効率化を推進し、資源多消費型産業モデルからの脱却に貢献。

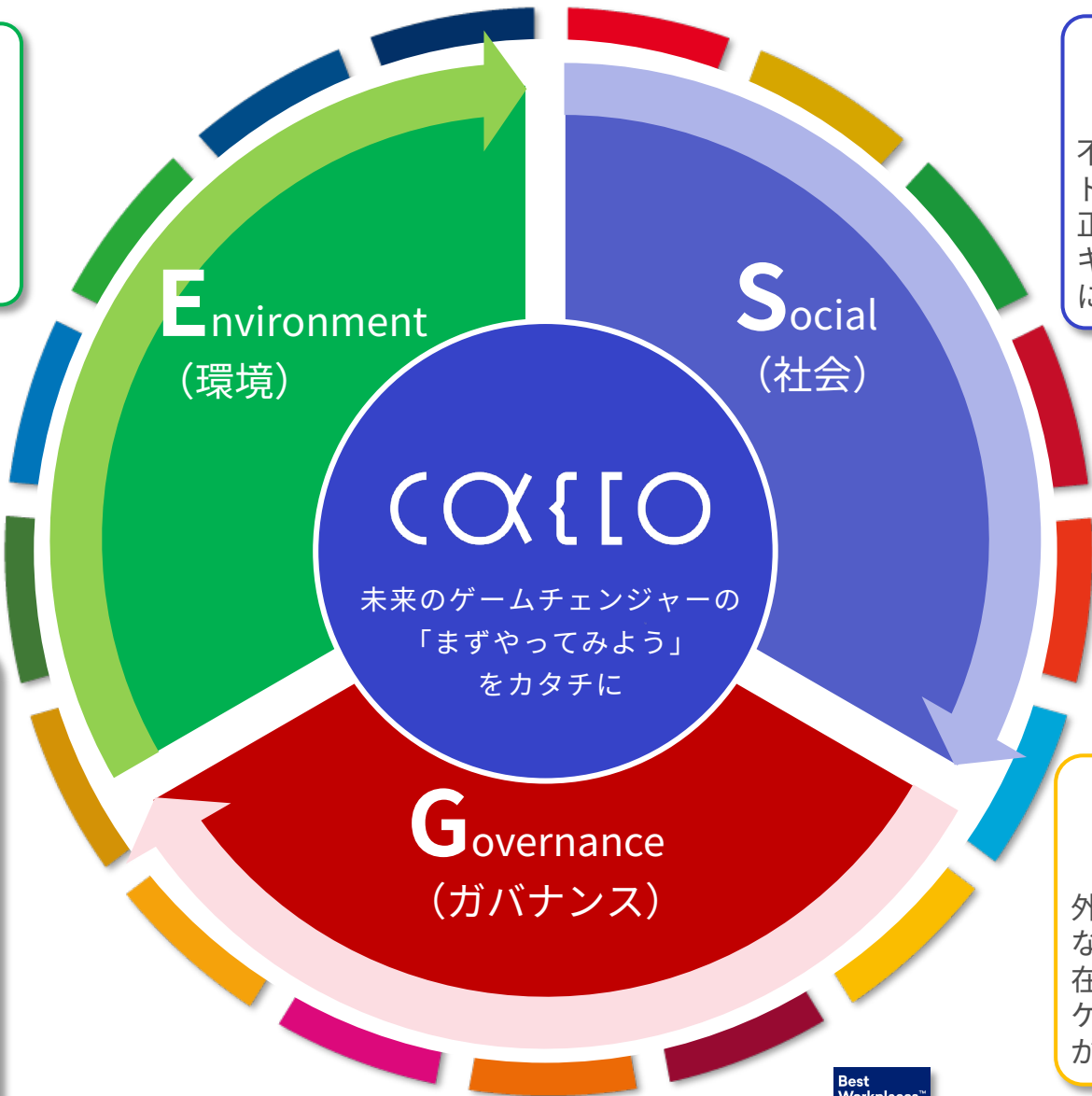
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

12 つくる責任 つかう責任



コーポレート・ガバナンス、コンプライアンス体制の強化

当社は、経営の効率化を図ると同時に、経営の健全性、透明性及びコンプライアンスを高めて社会的信頼に込めていくことが、持続的な成長には不可欠であると考えております。その結果が、企業価値を向上させ、株主や債権者、従業員など企業を取り巻くさまざまなステークホルダーへの利益還元につながるとの認識に立ち、日々コーポレート・ガバナンスの強化に努めております。



EC・オンライン取引における安全なインフラ構築

不正検知サービスによって、クレジットカードのなりすまし利用や不正アクセスなどの不正行為を検知し、EC・オンライン取引・キャッシュレス決済等の安全なインフラ構築に貢献。

8 働きがいの経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

5 ジェンダー平等を實現しよう

8 働きがいの経済成長も

多様な人材の活躍を支援 働きがいのある就労環境の整備

外国人、子育て世代の女性、インターン学生など多様な人材の活躍を支援するとともに、在宅勤務環境の整備・オンラインコミュニケーションの活性化などの取り組みで「働きがいのある会社」ベストカンパニーに選出※。



※(株)働きがいのある会社研究所による「2021年版日本における『働きがいのある会社』ランキング」にて小規模部門23位にランクイン。

本資料の作成について、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズの変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

C O X { [O

未来のゲームチェンジャーの
「まずやってみよう」をカタチに